



学びを止めない!No3

補習校祭り

今年度より実施しました前期保護者面談では、担任より1・2学期の頑張りと、3・4学期での課題解決に向けた具体的な取組をお話しさせていただきました。ぜひもう一度、お子様と3・4学期に頑張ることを確認し、家庭学習の計画を立てていただければと思っております。

各教科の基本となるのはやはり国語（日本語力）だと思えます。そして、この国語学力の基盤を作るのに有効なのは、音読・作文・視写・漢字です。面談でもお聞きになったかもしれませんが、それぞれ、以下の効果があることをもう一度お伝えしたいと思います。

補習授業校では、教室学習と家庭学習とが五分五分の重要さをもっていると思えます。ぜひ家庭学習に、意図的・計画的に音読・作文・視写・漢字を取り入れていただきたいと思えます。

<p>音読</p> <ol style="list-style-type: none">1 発音・発声を正しくする。2 日本語の調子を感覚的につかませることができる。3 記述内容の理解を促す。4 音読や朗読が上手になる。5 教室が活気づく。6 国語が苦手な子も上達の喜びを味わうことができる。	<p>作文</p> <ol style="list-style-type: none">1 語彙（ごい）を増やす。2 言葉づかいや文法への関心を喚起する。3 文字や表記への注意を喚起する。4 論理的思考力を伸ばす。
<p>視写</p> <ol style="list-style-type: none">1 集中力をつける。2 筆圧（感）を養う。3 字が上手になる。4 精読を促す。5 漢字に対する苦手意識を軽減する。	<p>漢字</p> <ol style="list-style-type: none">1 語彙が増える。2 表現力が豊かになる。3 理解力が深まる。4 帰国後の漢字学習の基盤ができる。

子どもたちが将来生きる場は、日本国内、国外（NZも含め）を問いません。そのためには、日本国内の学校であれ、補習授業校であれ、日本の言葉と文化をしっかりと身に付けることが大切です。保護者の方々の思いもそこにこそあると思っております。3・4学期も学校と家庭がベクトルの揃えて学びを進めていきたいと思えます。今後とも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

補習校祭り

11月13日に補習校祭りが行われました。昨年同様コロナ禍の中での実施となり、児童生徒のみの参加となりましたが、子どもたちにとっては楽しい一日となったと思えます。来年度はぜひ私も参加し、竹馬を子どもたちに教えたいと思っております。

【補習校祭りの様子】

